

意見	回答・取組方針
待機児が少しでも減るように	令和3年4月、待機児童「0」を実現しました。 今後も「第2期交野市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育の受け皿の確保に努めます。
近隣市では定員割れによる迅速な利用定員の減ができるようになってきています。交野市においても、同様の対応がいずれ必要になると思われますので、担当課におかれましては念頭に置いていただきたい。	「第2期交野市子ども・子育て支援事業計画」の中間見直し等により、将来の保育需要の動向について見通しを立て、計画的に対応してまいります。
今年度第1回目の会議が開催されず、書面での案件の可決は残念です。今後は大事な子ども・子育て会議を開催して、交野市の指針を討議できるよう望みます。	本来でありましたら、委員のみなさまにお集まりいただきご説明させていただくところですが、緊急事態宣言が発令中であったこともあり新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面開催とさせていただきました。 第2回交野市子ども・子育て会議は、社会状況を見極めるとともに、新型コロナウイルス感染防止対策を万全にした上で、お集まりいただき、開催させていただく予定をしております。
ひかりの子幼稚園は、ていねいに新園舎を増築されていました。いつも愛情深く子どもを育てくださる園。利用されるお子さんも健やかに育つことと思い見守り、応援したいと思います。より多くのお子さんが通えることとなりすばらしいことだと思いました。	
0歳児の受け入れも検討していただきたい。	0歳児につきましては、数年間待機児童が「0」となっており、今回は1, 2歳児の定員拡大となっています。

令和3年度第1回交野市子ども・子育て会議に係るご意見

※ご意見等につきましては、令和3年度第2回交野市子ども・子育て会議にて報告します。